



第26回 自動認識総合展 開催

2024年9月11日から13日まで、東京ビッグサイト西ホールで第26回 自動認識総合展が開催されました。自動認識セミナーや自動認識システム大賞表彰式なども併設し、会期中13,699名にご来場いただきました。



# JAISA 一般社団法人日本自動認識システム協会

# 会報JAISA秋号 CONTENTS

第26回 自動認識総合展 開催	P1~2
第26回 自動認識総合展 セミナープログラム	P3~4
第26回 自動認識システム大賞 表彰式	P5
第26回 自動認識システム大賞	P6
未来のAUTO-IDプロジェクト/青少年のための科学の祭典	P7
未来のAUTO-IDプロジェクト/学生と新社会人の展示会見学	Р8
2024年度 自動認識の基礎知識セミナー ご案内	P9
2024年度 日勤心臓の金能心臓とく) と来り	ГЭ
自動認識総合展 名古屋 2025 ご案内	P10



第26回自動認識総合展入場ゲート



初日の展示会場

#### 国内唯一の自動認識技術・ ソリューションの専門展示会

第26回自動認識総合展が2024年9月11日 (水) から13日(金)まで、東京ビッグサイト西ホールで開催されました。

本展示会は、国内唯一の自動認識技術・ソリューションの専門展として自動認識の先進技術をはじめ、「画像認識×AIゾーン」を新設して専門分野を集中的にご覧いただける展示会場レイアウトとしました。

また「事例でわかる自動認識」(出展者の事例パネル展示)や自動認識の基礎知識講座と自動認識技術の動向、市場調査報告、第26回自動認識システム大賞受賞作品の表彰式・講演会など、多彩な企画・セミナーが併設されました。

本展示会の来場者は会期3日間合計で13,699名 (昨年11,022名)で、東ホールで同時開催された「国際物流展」からの来場者も5,400名を超えました。出展者は78社・団体となりました。





展示会開催に先立ち、開会式ではJAISA代表理事相良会長は主催者ご挨拶のなかで本展示会の特長や見どころを紹介し、本展示会が現場課題の解決につながるソリューションや新技術をご覧いただける機会であることを述べました。また、来賓を代表して経済産業省経済産業局産業機械課須賀課長は、DX化の基盤技術となる自動認識が製造業と社会経済の発展に貢献することを期待する、とのご祝辞をいただきました。開会式のあと、来賓とJAISA役員は会場を視察し、出展各者の最新ソリューションに触れ質疑応答を交えて多くの製品に関心を示されていました。



来賓の皆様による視察



経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長 須賀 千鶴 様



(一社)日本自動認識システム協会 代表理事会長 相良 降義

#### 画像認識×AIゾーンを新設

近年、さまざまな分野でAIが積極的に導入され、自動認識においてもAIを活用した「画像認識」ソリューションが注目されています。文字を認識して翻訳、外観検査での部品の不良品対策、無人レジ、医用画像診断や顔認証システムなど、AIによる画像認識は活用が進んでいます。

本展示会では、進化する画像認識の分野で、画像認識機器・技術にAIソリューションを加えた「画像認識×AIゾーン」を新設しました。また画像認識の導入ポイントの解説や最新の事例紹介ほか、会期中のセミナーにも組み込まれ、多くの来場者を集めていました。

#### 【画像認識×AIゾーン 出展社】(50音順)

(株)インフォファーム

(株)グレープシステム

(株)シフト シリウスビジョン(株)

(株)ソリトンシステムズ

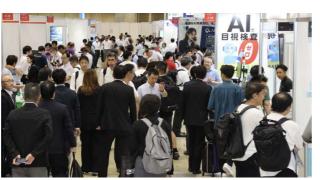
(株)とめ研究所

(株)トラストテクノロジー

ファストラベル(株)

BizTech(株)

画像認識やAIを活用したソリューションは、ゾーン展示以外の出展社でも多く展示されており、各ブースで活発な商談が行われました。



画像認識×AIゾーン

#### 事例で分かる自動認識 出展各社のソリューションパネル

自動認識総合展では、出展各社によるDXを推進する自動認識ソリューションパネルを会場入り口付近に設置しています。製造、物流、リテール、医療、公共など、各産業分野に向け、導入事例や新製品紹介など、出展社の特長を見ることができ、来場者がブースを訪問するきっかけとなるインデックス的な役割とする催しとなっています。



「事例で分かる自動認識」ゾーン

#### 自動認識セミナーの併設

展示会場に併設したセミナー会場では、自動認識セミナー、出展者プレゼンテーション、自動認識システム大賞受賞講演、JAISAセッション、JAISAフォーラムなど、14講座/34セッションが行われ、自動認識の知識習得や現場の課題解決に役立つ情報が披露されました。さまざまな業種、立場の方々との交流を促進する場としてもご活用いただきました。



セミナー会場

#### JAISAコーナーを一新

展示会場のJAISAコーナーでは、当協会の事業と研究開発センターの部会・プロジェクト活動内容ほか、今年度の取り組みをご紹介するパネル展示に加え、自動認識総合展の展示会テーマである「未来につなぐAUTO-ID」ーAUTO-ID for DX 未来を形にする自動化ソリューションーに因んだ製品を展示しました。

展示製品は、24時間いつでも購入でき、個人認証機能や課金決済、商品検知システムなどのIoT技術を組み込んだ自動販売機、レストランや店舗で見かける配膳・清掃ロボット、4足歩行のAIロボットほか、さまざまな分野のソリューションを展示協力いただきました。

#### 【JAISAコーナー 展示協力各社】(50音順)

(株)アイテックス	配膳・掃除ロボット
(株)eビジネス ソリューション	RFIDスポーツ タイミング計測
(株)スマリテ	スマート販売機
ニューランドAIDC ジャパン(株)	医療向け自動認識 ソリューション
(株)ポケット・クエリーズ	4足歩行ロボット









JAISAコーナーの展示製品

#### SI 画像認識 × AI導入ガイダンスと事例

#### 画像認識AI導入の落とし穴~知っておくべき5つのポイント

200プロジェクト以上のAI導入を成功させてきたAutomagiがAI導入時に失敗しないための5つのポイントとともに、画像認識AIの基礎知識から最新事例まで徹底解説!AI導入プロジェクトを任されている方、画像認識AIで何ができるのか知りたい方のためのセミナー。

Automagi(株) 営業部 主任 三ツ木 裕隆 氏

#### サーキュラーエコノミー (CE) 実現を支援するタギングの力について

発生量予測の困難な使用済み製品や廃棄物から特定品質を担保した資源を生み出し、社会に戻すCEの実現には様々な課題があります。回収~再資源化工程をタギングでどの様に支えるか、先進的リサイクラーであるナカダイ様と、サトーがCE実現に向けた取組みをご紹介。

- (株) サトー 新市場戦略部 部長 清水 香晶 氏
- (株)ナカダイ リソーシング事業部兼R&D事業部 執行役員 後藤 進 氏

#### S2 医療現場におけるDX化事例

#### 医療施設におけるスマート販売機の導入事例

医療施設における無人販売システムにて、商品の選択から決済までのプロセスを自動化し、患者や来訪者、従業員に対して24時間いつでも購入が可能になります。個人認証機能、課金決済システム、商品検知システムによるIoT技術により顧客満足度の向上を実現。

(株)スマリテ 久下 雅貴 氏

#### 自動認識技術で実現する医療DX事例

#### 一京都大学医学部附属病院での患者案内アプリケーション一

現在の医療情報システムの支援を受けるには、患者、医療者、医療機器などの医療 行為の構成要素を入力する必要があり、臨床現場の負担になります。本講演では、 自動認識技術を活用して前記課題を克服した、京都大学医学部附属病院の事例を 紹介。

京都大学 医学部付属病院 教授 黒田 知宏 氏

#### 自動認識システム大賞 表彰式&講演会

#### 自動認識システム大賞 産経新聞社賞

(株) デンソーウェーブ LiDARを活用した人流計測システム

#### 自動認識システム大賞 優秀賞

TOPPANデジタル(株) / TOPPAN(株) 古文書解読サービス「ふみのは®」

#### 自動認識システム大賞 優秀賞

富士フイルムメディカル(株)/(株)ネットレックス/東芝テック(株) 画像診断AIを活用した内視鏡資産管理におけるデジタルトランスフォーメーション

#### 自動認識システム大賞 大賞

日本電気(株) 棚定点観測サービス(小売店舗での業務効率化)

#### 2023年市場調査報告と自動認識技術の最新動向

毎年JAISAが実施しているアンケート調査に基づく自動認識関連の2023年調査報告と、製品分野別の前年までのトレンドや今後の見通しなどの報告に加え、今後のバーコード、二次元シンボル、RFID等の自動認識技術の動向を解説。

(一社) 日本自動認識システム協会 市場統計委員長 佐藤 誠 氏 アイニックス(株) 代表取締役 平本 純也 氏











#### 第26回 自動認識総合展 セミナープログラム

昨今の流通・物流政策についての他、RFID等の自動認識技術を

サプライチェーン効率化に向けた標準化の取り組みについて

(公財) 流通経済研究所 主任研究員 久保田 倫生 氏

自動認識技術を活用した消費財サプライチェーンの効率化に向け

た標準化の取り組みについて、その考え方やあるべき姿等、経済

「RFIDの導入を検討しているが、具体的に何をどんな手順で検

討すれば良いかが分からない。」「テストを行うにしても、どんな

項目でデータを取れば良いのか分からない。データの評価基準

が分からず、KPIの設定ができない。」といった課題を抱える企業

マルチモーダルAIを活用した製造現場の働き方改革(事例) 製造DX

カラーバーコード (カメレオンコード) ×マルチモーダルAIの連携

で、作業者を特定した追跡と作業動線の可視化、安全性の監視と

AI×協働ロボット - 新方式で革新する自動外観検査 製造DX

が増えています。RFID導入までのプロセスをわかりやすく解説。

#### BT Spice 自動認識セミナー

昨今の流通・物流政策について

活用した取組概要について講演。

産業省事業の内容を中心に講演。

RFID実装までのプロセスとポイント

大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部

サービス開発第2部 副部長 中野 茂 氏

出展社プレゼンテーション

(株) インフォファーム

管理の事例紹介。

PFサービスセンター IoSTプラットフォーム本部

経済産業省 商務・サービスグループ

消費・流通政策課 課長補佐 金 正和 氏

9月12日(木)

#### S3 サプライチェーンの環境変化に対応した取組のポイント S5 OCRを活用したDX化事例

#### ── 業務効率化を実現! OCR基本の【き】セミナー

BT Spice 自動認識セミナー

データ入力作業の手間を大幅に削減し2重入力や人的ミスの削減などを目的としたOCRの利用はビジネス用途にも広く浸透しております。本セミナーにて活用するにあたっての注意点やアドバイス、導入事例などを紹介。

9月13日(金)

(株) イメージャー セールスディベロップメントチーム チーフ 岸 賢信 氏

#### 現場で活かす! ハンディターミナル&AI-OCR活用事例ご紹介

AIにより高性能になった文字認識技術を活用し、ヒトが行っていた入力やチェックの自動化・システム化に成功した事例を紹介。開発に至る経緯や立ちはだかる問題に、いかに対応し前に進めることが出来たか?DXを検討している方へ参考になる実例を紹介。

奏風システムズ(株) 代表取締役 赤塚 剛氏

#### S6 製造DXの導入事例

#### 労働力不足解消への一石:画像認識AIを活用した製造業の効率化と未来

日本は少子高齢化と人口減少が進行中で、2030年には644万人の労働力不足が予想されています。本セミナーでは、当社のSaaSサービス『WIZIoT遠隔監視』を使用した製造業における設備の巡回点検の効率化例と、初期投資を最小限に抑える方法、さらに今後の展望について説明。

(株) AloTクラウド プロダクトマネージメント部 部長 宇徳 浩二氏

#### 持続可能なモビリティ用タイヤの実現に向けての取組み、それを 支えるタイヤ内蔵RFID技術と業界動向について

ミシュランビジョン"すべてを持続可能に"の下、日本ミシュランタイヤのタイヤ事業におけるRFID活用や取り組みを紹介。また、村田製作所のタイヤ内蔵RFIDやそれを支える技術、RFIDを広く活用するための標準化や業界の取り組みについても紹介。

日本ミシュランタイヤ(株) B2Bタイヤ事業部 常務執行役員 田中 禎浩 氏 (株) 村田製作所 事業インキュベーションセンター

RFID事業推進部 ビジネスディベロップメント課 シニアマネージャー 福原 将彦 氏

#### (株) トラスト・テクノロジー

AIと協働ロボット、急速に普及する両技術を組み合わせることにより、外乱に強く、立体形状にも対応する外観検査システムを実現します。従来の検査機より汎用性が高く、本当の意味で現場で運用できるシステム提案。

#### JAISAフォーラム2024

RFIDユーザのためのRFID活用ガイドライン&ケーススタディの活用法 ~RFIDを活用したリターナブル容器 (RTI) 管理を例に解説 ~

RFID部会アプリケーション技術グループ グループ長 竹本 直也 氏RFID部会アプリケーション技術グループ 小林 洋祐 氏

生体認証プロセスの相互利用と活用の可能性について JAISA バイオメトリクス部会 マーケティンググループ長 夏目 学 氏

AI画像合成手法を利用した生体認証性能評価の可能性について JAISA

バイオメトリクス部会 精度評価技術グループ長 山田 茂史 氏

#### 画像認識技術の導入のコツ

~最新のガイドラインを用いて導入から活用までを解説~ JAISA 画像認識プロジェクト プロジェクト長 片岡 好広 氏

国際標準化を達成したバーコードプリンタ及びリーダの性能評価仕様 JAISA 研究開発センター 研究員 今井 博行 氏

#### 出展社プレゼンテーション

#### AI×協働ロボット - 新方式で革新する自動外観検査 製造DX

(株) トラスト・テクノロジー

AIと協働ロボット、急速に普及する両技術を組み合わせることにより、外乱に強く、立体形状にも対応する外観検査システムを実現します。従来の検査機より汎用性が高く、本当の意味で現場で運用できるシステムを提案。

#### This is SiriusVision! 印刷検査の高い技術を印字検査に適用。

高い精度の印字検査の実現(製造DX)

シリウスビジョン (株)

印刷業界で高い評価を頂いているシリウスビジョンの印刷検査技術を、印字検査に適応させる事でこれまでにない高い次元での印字検査が可能となっています。高い認識率、高精細な印字品質検査(バーコード含む)、ISO/IECに準拠したしっかりとしたグレード検査。

# マルチモーダルAIを活用した製造現場の働き方改革 (事例) 製造DX (株) インフォファーム

カラーバーコード (カメレオンコード) ×マルチモーダルAIの連携で、作業者を特定した追跡と作業動線の可視化、安全性の監視と管理を事例紹介。

#### ICタグの使い方 製造DX 物流DX リテールDX 医療DX

(株) RFIDアライアンス

RFIDアライアンスのユニークなICタグをご紹介します。RFIDラベル、プラスワンタグ (連続型RFID下げ札)、RFID (UHF)カード、金属対応RFIDタグ、RFIDランドリータグ (UHF、HF)

#### 低コストICチップのご紹介 物流DX リテールDX 医療DX

(株) Minerva

- ・安く生産できる理由
- 由 ・中国製製品だが、日本製のタグと互換性あり
- ・使い捨てのラベルのご紹介 ・実用事例:初期投資を素早く回収可能できる

#### 第26回 自動認識システム大賞 表彰式

#### 国内の産業界に向け DXを促進する自動認識システム

自動認識総合展の初日、第26回自動認識システム大賞の表彰式&講演会が行われました。本年のシステム大賞応募作品は、画像認識技術の急激な高まりと需要の拡がりを反映して、画像認識と他技術の組み合わせが多く寄せられました。システム大賞は日本電気(株)「棚定点観測観測サービス(小売店舗での業務効率化)」が受賞しました。

受賞式に先立ち、自動認識システム大賞表彰審査委員会委員長の慶應義塾大学 斎藤英雄教授は、それぞれの応募作品が優秀であり「物流・流通・医療を始め人流計測、廃品回収、ブロックチェーン等、従来の分野に加え、新しい業種・業態に対してDXの促進を図った作品が応募された。自動認識技術の活用で社会的利便性や経済効果に繋がるシステムを普及させよう、との意欲を感じる」と講評を述べました。

#### 受賞作品

#### ■大賞 「棚定点観測サービス(小売店舗での業務効率化」 日本電気(株)

#### ■システム概要と特長

人手不足に直面する小売業界での業務効率化を目的とし、 定点カメラによる画像ベース棚欠品検出・通知・可視化システムを開発。映像内の商品棚に対して、商品種別ごとの 欠品率を一定頻度で自動的に算出・可視化し、補充タイミングを従業員のスマホに通知することで、品出し業務の効率化を実現。

店舗内の欠品状態がひと目でわかる専用アプリでの可視 化によりユーザビリティを高め、従来にない実用的な自動 認識システムを実現した。

#### 自動認識システム大賞受賞作品の詳細は https://www.jaisa.or.jp/award\_history.php

■優秀賞 「画像診断AIを活用した内視鏡資産管理における デジタルトランスフォーメーション」 富士フイルムメディカル(株)、(株)ネットレックス、

富士フイルムメディカル (株)、(株)ネットレックス、 東芝テック(株)

#### ■システム概要と特長

医療精密機器である内視鏡の検査や修理で画像診断AIやRFID、ダッシュボードでの見える化をはかり、画像診断業務の標準化と診断人する材の育成効率化を実現。様々な観点でDXを推進し、医療機関の業務を止めない仕組みとして機能・貢献している。

#### ■優秀賞 「古文書解読サービス<ふみのは®」 TOPPANデジタル(株)、TOPPAN(株)

#### ■システム概要と特長

ディープラーニング(深層学習)技術による、古文書の文字 認識技術を研究し技術改革を進め、現在は画像認識技術と OCR認識技術を駆使して、最新のディープラーニング技術 を取り込み独自の技術を構築している。「ふみのは®」では AI OCRによる下読み・効率的な解読が可能で、WEB公開・ 展示・出版など、さまざまな活用方法がある。

自動認識技術を使って新たな価値の創造に貢献している。

#### ■産経新聞社賞

「LiDAR(ライダー)を活用した人流計測システム」 (株)デンソーウェーブ

#### ■システム概要と特長

数十メートルから数百メートルにわたる範囲の人々の移動 軌跡を詳細に実時間で、且つプライバシー侵害の恐れなく 可視化する。人流データは様々な用途で活用されており、移動軌跡は空間利用時間や危険な混雑を可視化でき、重要な判断材料となる。

本システムは、プライバシーの問題を解消し独自のアルゴリズムで精度良く実時間で人の移動軌跡を可視化しており、様々な課題解決に貢献する。



斎藤 英雄 審査委員長



大賞を受賞した日本電気(株)様



第26回 自動認識システム大賞 大賞、優秀賞、産経新聞社賞 受賞のみなさま

5

#### 第26回 自動認識システム大賞

#### 自動認識システム大賞とは

今年度の「第26回 自動認識システム大賞」の受賞作品が決定しました。自動認識システム大賞は、先進的かつ導入効果が極めて顕著な自動認識技術やシステムを表彰するもので、国内で実用されている(または実用の目途が立っ

ている)事例を有する日本国内の企業、団体、個人で、当協会の会員・非会員を問わず応募していただけます。

来年の「第27回 自動認識システム大賞」の作品募集は、 2025年3月から開始いたします。

#### 審査基準と審査会

自動認識システム大賞の審査及び選定は、予選審査会で会員企業のバーコード、RFID、生体認証、画像認識など自動認識技術のエキスパートで構成された審査委員が、全応募作品の中から書類審査で本選に進む作品を採点方式で選定します。

本選審査会では、予選を通過した作品のプレゼンテーションが行われた後、官・学・産業団体の有識者の皆様が審査委員として、最終審査を行い受賞作品が選定されます。

予選審査会、本選審査会ともに審査委員の評価基準は、自動認識システムの新規性、導入効果、社会的価値を5段階評価で採点します。最終的に、総合得点と表彰基準を基に、審査委員の理解と合意によって各賞が決定します。

#### 予選・本選審査における評価基準

#### 1.新規性

- 1)技術:従来の技術と比較した新しさ、優位性
- 2) 市場:新市場を創造した新しさ
- 3) 企画:発想や着眼点が独自である新しさ

#### 2. 導入効果

- 1)経済:省力化、コストダウンなどによる経済的効果
- 2) 品質:品質の向上、品質管理の精度向上などによる効果
- 3) 利便:作業者やユーザの利便性を高める効果

#### 3.社会的価値

- 1)公共的•社会的貢献度
- 2) 環境保護に対する貢献度

#### 【第26回 自動認識システム大賞 受賞一覧】

	受賞作品タイトル	応募企業	基礎技術
大賞	棚定点観測サービス (小売店舗での業務効率化) 日本電気株式会社		画像認識
優秀賞	画像診断 AI を活用した内視鏡資産管理 におけるデジタルトランスフォーメーション	富士フイルムメディカル株式会社 株式会社ネットレックス 東芝テック株式会社	画像診断AI、 RFID
優秀賞	古文書解読サービス「ふみのは∞」	TOPPAN デジタル株式会社 TOPPAN 株式会社	OCR/ 画像認識
産経 新聞社賞	LiDARを活用した人流計測システム	株式会社デンソーウェーブ	その他 (人流計測)
入選	画像認識を活用した出荷検品システム	オカベマーキングシステム株式会社 株式会社ジェイ・フォス	画像認識、 2次元バーコード
入選	アート作品などにつける ブロックチェーン証明書サービス	スタートバーン株式会社 株式会社丹青社	RFID (NFCタグ、カード)
入選	RFIDセンサータグを用いた バッテリーレス重量変位検知システム	株式会社イーガルド	RFID (RFタグ)
入選	廃棄物回収のスマート化POC	株式会社サトー 株式会社ナカダイホールディングス	AI+ 画像認識技術
入選	画像処理/検査システムVisAI スマートフォン画像認識"MoMaVi"による 省人化・半自動化ソリューション	株式会社マーストーケンソリューション	画像処理
入選	進化した物流映像記録システム 「リアルパッキング」	株式会社PACKING LABO	画像・映像技術 (画像物流包装映像技術)

6

#### 【第26回 自動認識システム大賞 表彰審査委員会】 (<sup>敬称略)</sup>

審查委員長 斎藤 英雄	慶應義塾大学 教授
大森 洋平	経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐
芦澤 宏和	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 課長補佐
河合 隆一	産経新聞 東京本社 事業本部 コンベンション事業部 部長
前田 秀	GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター) 常務理事
荒木 勉	上智大学 名誉教授
市野 将嗣	電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 准教授
佐藤 誠	一般社団法人 日本自動認識システム協会 理事
笹原 美徳	一般社団法人 日本自動認識システム協会 理事
古村 浩志	一般社団法人日本自動認識システム協会 専務理事 自動認識システム大賞 予選審査会 委員長

<sup>\*</sup>入選作品の掲載は、申込受付順です。

#### 夏休みのイベントで 子供たちが自動認識を体験

JAISAでは自動認識普及啓発事業の一環として、新たな情報発信を行う未来のAUTO-IDプロジェクトを設けて、次世代育成につながる活動に注力してます。本年7月には「青少年のための科学の祭典」全国大会に出展し、多くの子供達やそのご家族に自動認識技術を体験していただきました。

「青年のための科学の祭典」は、(公財)日本科学振興財団が主催し、日本の科学技術のすそ野を広げ理科好きの子どもたちの育成を目的に、理科や数学、科学分野の実験や工作を一同に集めて来場者に楽しんでもらうイベントで、1992年から開催されています。

#### JAISAブースのご紹介

バーコードとICタグを学習・体験する「体験教室」と 手軽に参加できる「体験展示コーナー」の2ゾーンを設置 しました。

#### 〈体験教室のカリキュラム〉

- ●座学 バーコードとは? ICタグとは?大学生による、やさしく・わかりやすい講義
- ●実験 光るICタグを作ってみよう! コイルを巻いてLEDを付ける工作体験
- ●体験① ICタグの一括読み取り RFIDを貼付したお菓子20種をそれぞれ段ボールに入れてハンドリーダーで読み取り体験
- ◆体験② 宝探し(単一商品探索)所定のお菓子(お宝)の入った段ボールをハンドリーダーで捜索体験



体験教室 生徒は8名。ご家族は子供の後ろで見学

# Child to the state of the state

QRコードパズルの組み立て

20個の段ボール一括読み取り

#### 〈体験展示コーナー〉

来場者に自由に体験いただくために、6種類の展示品をご用意しました。

#### ●オリジナルQRコード作成・発行

PCにメッセージや絵文字を入力してQRコードに変換し、プリンタでQRラベルを発行、スマホで読み取りメッセージを確認する

#### ●パズル組み立て

QRコードを4分割、9分割したパズルを組み立てる

#### ●文具や宿題管理 (ICタグ)

ICタグを貼付した学習ノート等の読み取り

## ●ドーナツの正しい配置&パイプの数量読み取り

スマホのカメラ機能を使った画像認識体験

#### ●ICブロック組み立て&対戦アプリ(ICタグ)

ICを内蔵したブロックの組み立てと読み取り ブロックの組み立て方で戦力が増強し、スマホのアプリで対戦できるゲームが楽しめる

#### 大盛況で会期を終了

会期の2日間とも体験教室は毎回満員になり、展示コーナーも順番待ちをいただくほど盛況でした。また、アンケートの回答からは自動認識技術への理解と関心を持っていただけたことが確認できました。

JAISAでは今後も自動認識の普及啓発のための活動を推進し、各種イベントを計画しておりますので、ぜひご参加ください。

#### 出展にご協力いただいた会員企業様 (50音順)

アビームコンサルティング(株) NECプラットフォームズ(株) (株)サトー

大日本印刷(株)

(株)デンソーウェーブ

東芝テック(株)

TOPPANデジタル(株)

- (株)ハヤト・インフォメーション
- (株)マーストーケンソリューション
- (株)リコー

#### 未来のAUTO-IDプロジェクト/学生と新社会人の展示会見学

#### 第5回AUTO-ID MeetUPを 自動認識総合展で開催

第26回自動認識総合展の会期2日目、9月12日(木)に大学生と新社会人が展示会出展社のブースを見学するAUTO-ID MeetUPを昨年に続き開催しました。当日の参加者は24名。午前と午後に分かれ、5グループが約90分で6~7社の出展製品や自動認識ソリューションを見学しました。

今年のMeetUPは従来の学生(大学・大学院・高専・専門学校に在学)に加え、新社会人(入社1~3年目安)も参加、就職を控えた大学生や自動認識企業への内定者、また自動認識を広く吸収し他社動向を調査する新社会人など、応募者のバックグランドは様々です。

#### 自動認識ソリューションに新鮮な驚き

見学グループが訪問した際には、出展企業の担当者様が自社の製品やソリューションの特長を丁寧に説明いただき、見学者はその場で質問し、実機を体験、また懸命にメモを取る等、見学時間を有効に活用していました。見学終了後は各自、出展ブースに再度訪問したり、見ていないブースを見学、また同時開催の国際物流総合展に足を延ばしていました。

#### 【参加者のアンケート回答】(一部抜粋)

#### 見学会の参加目的

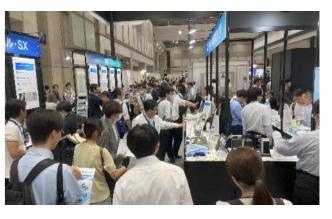
- ・自動認識の分野における最新技術、動向の調査。
- ・今後自分が働いていく業界がどのようなものなのか理解 したかった。
- ・就活に役立てるため。
- ・新入社員として自社でも取り扱っている画像認識の分野について、他社と業界の動向を勉強したいと思い参加。

#### 見学先で特に印象に残った企業や感想

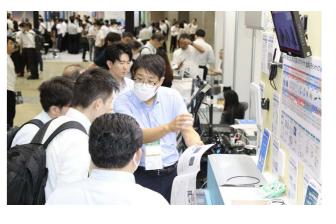
- ・どの企業の方も、初学者である私たちに分かりやすい説明をしてくださったこと。
- •TOPPANの開封検知機能付きICタグ。セキュリティの面でも優れた技術だと感じた。
- ・サトーの画像認識。ライン上のラベルを張る対象物の向きを画像検知し、その向きに合わせて正確にラベルを自動で貼付ける。
- ・東芝テックの、手洗い管理装置の技術力。
- ・ガゾウの全盲の方への目線認識技術。
- ・QRコードは、デンソーウェーブが作ったもので、権利を無 償で世界に公開しているという話を聞き、日本人が作っ た技術が世界で使われているということに驚かされた。

#### 自動認識総合展の感想

- ・トップを走る企業の最先端の技術を間近で見る事で、自動認識の"今"を知ることができた。
- ・出展企業や業界別の特色や、得意分野を比較できた点で満足。
- ・日本の最先端の自動認識が進んでいる。もっと広がれば 便利で効率の良い、世の中が出来ると感じた。
- ・来年から営業として働く為、知識を深めていきたい。







#### 【MeetUP参加者 大学/企業】

5千穂大学 近畿大学	慶應義塾大学	工学院大学
50学部 文芸学部	総合政策学部	情報学部

二学 二松学舎大学 全部 国際政治経済学部

城西国際大学 産業能率大学 経営情報学部 マーケティング学部 東京国際大学 情報デザイン学科

追手門学院大学

経済学部

神田外国語大学外国語学部

玉川大学

工学部

NECプラット フォームズ(株)

経営学部

山梨学院大学

日本電気(株)

立正大学

経営学部

キヤノンファイン テックスニカ(株)

電算企画(株)

Ų

3)











# 2024年度

# 自動認識の基礎知識セミナー

自動認識の基礎知識セミナーは、どなたでも参加できる自動認識技術の入門講座として、一次元・二次元シンボルや RFID (電子タグ)、バイオメトリクス (生体認証) の基礎知識を図式や事例を交えて分かり易く解説します。









# 自動認識の基礎知識セミナー概要

講座	バーコード、RFID、バイオメトリクス、標準化
対象者	どなたでもご参加頂けます。特に新入社員・新任担当者の方に最適です。
URL	https://www.jaisa.or.jp/seminar.php (Webサイト)
申 込	kiso-seminar@jaisa.or.jp (e-mail)

#### 【1】自動認識の基礎知識セミナー(集合形式 または オンライン受講)

開催日	2024年 ①4月25日 (木) ②6月21日 (金) ③8月28日 (水) ④10月23日 (水) ⑤12月6日 (金) ※2025年2月に追加実施予定		
開催時間	10:00~16:45 (昼食、休憩含む)		
開催場所	(一社)日本自動認識システム協会 会議室		
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスおよび標準化の基礎的な知識、活用方法・応用事例ほか		
募集人員	40名 (先着順)		
受講費用	費用 会員企業 10,000円/人 (税込価格 11,000円) 非会員企業 20,000円/人 (税込価格 22,000円)		

#### 【2】講師派遣による自動認識の基礎知識セミナー(集合形式 または オンライン受講)

開催日	ご要望により実施		
開催場所	ご指定場所		
講義内容	バーコード、RFID、バイオメトリクスの各科目を各1講座として、1回の派遣につき 2講座以上にて対応します。講座の組合せはご要望に従って実施します。 ※ RFID の実演に関しては免許の関係により別途ご相談		
実施費用	受講人数 会員企業 非会員企業		非会員企業
(1講座)	20名未満	30,000円 (税込価格 33,000円)	60,000円 (税込価格 66,000円)
※2講座以上で	20名以上 40,000円 (税込価格 44,000円) 80,000円 (税込価格 88,000円)		80,000円 (税込価格 88,000円)
お申し込みください	50名以上	60,000円 (税込価格 66,000円)	120,000円 (税込価格 132,000円)
交通費等	講師交通費・宿泊費・日当等は講師人数分を別途ご負担願います。(100km圏内は除く)		
その他	セミナー会場の確保とプロジェクターの準備をお願いします。		

お問い合せ

(一社) 日本自動認識システム 協会基礎知識セミナー事務局 Phone 03-5825-6651 ☑ kiso-seminar@jaisa.or.jp www.jaisa.or.jp



# **AUTO-ID & COMMUN ★ CATION EXPO**

# 自動認識総合展

2025.2.18 1-19 10:00-17:00

名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)第1ファッション展示場



## 入場料 無料(登録制)

主 催: 一般社団法人日本自動認識システム協会 併催事業: **BT Sp!(Ce 自動認識でニナー** 

www.autoid-expo.com









展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST神田須田町4F TEL. 03-5297-8855 FAX. 03-5294-0909 nagoya@autoid-expo.com

会報 JAISA 第80号 発行所:一般社団法人日本自動認識システム協会 発行人:専務理事 古村浩志 事務局:〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7F TEL:03-5825-6651 FAX:03-5825-6653 https://www.jaisa.or.jp/